

AGU 青山学院大学 NEWS No. 48

AGUニュース第48号
[2009年8月～10月号]

青山学院大学・広報入試センター広報課
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL.03-3409-8111 (代表)
URL <http://www.aoyama.ac.jp/agunews/>



相模原キャンパス

特集  AOYAMA
GAKUIN
UNIVERSITY

誕生から1年が経過した “新学部・学科”の現状

学長メッセージ: “第一期生”の学生と教員に、本学の“新しい歴史”の構築を期待します。

学部長&学生座談会

総合文化政策学部／社会情報学部／現代経済デザイン学科(経済学部)

TOPICS

2008年度の進路・就職状況について
社会に広く門戸を開く「青山学院大学大学院」

報告・お知らせ

「青学オープンカレッジ」がスタート
大学学費納付について
2009年度ペアレンツウィークエンド開催日程

誌上公開講座

青山スタンダード 教養コア科目
「科学・技術の視点(総合科目)」

INFORMATION

夏期休業期間中の窓口案内
2010年度一般入学試験・センター試験利用入学試験日程



特集

誕生から1年が経過した “新学部・学科”の現状



総合文化政策学部

社会情報学部

現代経済デザイン学科(経済学部)

青山学院大学26年振りの新学部誕生として話題になった「総合文化政策学部」と「社会情報学部」、さらに経済学部2番目の学科「現代経済デザイン学科」、これら2学部・1学科が2008年4月に新しく誕生してから1年が経過しました。当初掲げた目標に向かって進化を続ける2学部・1学科の現状について、学長の見解を聞くとともに、各学部長と学生による“対談”を企画しました。



学長 伊藤 定良

昨年は、1982年の「国際政治経済学部」以来、青山学院大学では26年振りとなる新学部「総合文化政策学部」と「社会情報学部」が設置されました。これは、経済学部の新学科として開設された「現代経済デザイン学科」とともに、社会的なニーズに対する本学からの“解答”であったと考えています。

“第一期生”の学生と教員に、 本学の“新しい歴史”の構築を期待します。

総合文化政策学部は、芸術や文化の発信拠点である「青山」という地域的環境があるからこそ実現できた学部です。新しい研究教育機関「青山コミュニティラボ(ACL)」が核となり、これから活発な地域との連携が“形”になっていくことを期待しています。一方の社会情報学部は、4年間「相模原」を拠点として“文理融合”の教育・研究を展開中です。こちらも神奈川県下の企業や研究施設と連携し、より実践的な学びを体験できるなど、将来に大きな可能性を秘めています。また、現代経済デザイン学科は、「公共」と「地域」をキーワードに、“いま学ぶべき知識”を身につけられる学科として注目を集めています。

こうした流れを受け、本学では今年4月

にも新学部「教育人間科学部」と経営学部の新学科「マーケティング学科」を立ち上げ、昨年、今年と受験者数が大きく増加しました。とくに今年は8,000名近く受験者が増え、これは昨年からの我々の“教育改革”への取り組みが、多くの方々に支持され、社会からも高く評価された結果であると捉えています。

新しい学部・学科の充実ぶりは、以下の学部長と学生たちとの“対談”からも伝わってきます。2年目を迎えて教育面でも核心に一步迫り、学生、教員ともに、より充実した毎日を過ごしていることでしょう。青山学院大学の“新しい歴史”を築く一人ひとりに対し、大きなエールを送りたいと思います。

総合文化政策学部



学部長 & 学生座談会

総合文化政策学部長 石崎 晴己
総合文化政策学部2年 西山 京子さん
総合文化政策学部2年 上柿 史彦君

文化の“創造”と“発展”に貢献できる人材育成

学際的に多彩な領域へアプローチ

石崎 まずは「総合文化政策学部」をめざした経緯から聞かせてください。

西山 私は自分を表現したりアピールすることに興味があります。「そんな自分を生かせる分野は何だろう?」と考えたとき、青学に新しくアートやメディアと関連深い学部ができることを知って興味を持ちました。

石崎 なるほど。確かに本学部は、アートやメディアとつながりを持ちますが、芸術学部ではないので、アーティストを養成するのではなく、“プロデュース”する立場の人材を育成したいと考えています。そういった背景を理解してもらえれば、存分に力を発揮できる環境だと思いますよ。

上柿 僕の場合は「これをやりたい」という分野を決めることができませんでした。総合文化政策学部では、幅広いことを学べるので、「いろいろと学ぼうちに、自分が勉強したい分野を探せるかも」と考えたのです。

石崎 高校生のうちから、自分自身の才能に気付ける人は稀だと思います。本学部では、学際的に多彩な領域を学べるので、そのなかから自分自身に合った分野と出会うことができるはずです。

ところで入学して1年が経ちましたが、この1年の印象はどうですか。

西山 とにかく個性的な学生が多いですね。幅広い領域を学べるということは、それだけ多彩な学生が集まるということ。音楽やファッション、デザインなど、みんな得意分野を持っていて、一緒にいるととても刺激になります。私もとりあえずは、写真や画像に関係した世界に興味を持ち始めたので、勉強してみようと考えています。

上柿 僕は「センシング・シティーズ」に参加したことが印象に残っています。

石崎 「センシング・シティーズ」は、本学部が昨年行った独自のイベントです。まず

学園祭で研究成果を発表し、その後、希望者はロンドンへの研修にも参加しました。上柿君が参加したきっかけは?

上柿 大学でクリケットを始めた影響で、クリケットが生まれた国イギリスに、一度行ってみたいと考えたことがきっかけです。でも「東京」と「ロンドン」をテーマに、フィールドワークや独自の研究を交えてプレゼンテーションした経験は、とても貴重でした。

石崎 ちなみに英語に力を入れているのも本学部の特長です。「イングリッシュ・コミュニケーション」と「イングリッシュ・プロフィシエンシー」からなる「ACE (Aoyama Communicative English) プログラム」を1年次から展開しています。これで身につけた知識を海外との交流に生かしてもらえればうれしいのですが。

上柿 昨年行ったときは語学の勉強不足を実感しました。今度クリケットの日本代表として、再度イギリスに行く予定ですので、その際は頑張りたいと思います。

特色ある「ラボ・アトリエ実習」

石崎 2年次からは、いよいよ「ラボ・アトリエ実習」がスタートします。どの先生のラボを選びましたか。

西山 「沖縄」に造詣の深い沖本幸子先生のラボを選びました。日本の領地でありながら本土とは異質の雰囲気を持ち、それでいて諸外国のように日本から隔絶されているわけでもない、そんな“別次元的文化”を沖縄には感じています。西表島へのフィールドワークも予定されているので、私たちの日常との相違点を体感してみたいです。

上柿 僕は「センシング・シティーズ」でもお世話になった大島正嗣先生のラボです。実はずっとパソコンはなくても大丈夫だと考えてきましたが、大学生活を通じて「やっぱり必要だ」と考えを改め、情報系を専門

とされる大島先生に学ぼうと思いました。

石崎 「ラボ・アトリエ実習」に期待することを教えてください。

西山 通常の授業では、学生は受身になりがちですが、ラボには先生と学生が一緒に学んでいく雰囲気を感じます。自分のやりたいことにチャレンジできる環境があるので、どんどん積極的に学んでいくつもりです。

上柿 ラボでの学びを自分自身のスキルアップに結びつけたいですね。まだ何に関しても知識が全然足りないと感じているので、この学部で学べることは全部吸収するつもりです。

石崎 では、最後に現段階での将来の夢を教えてください。

西山 まだまだ勉強したいことが多すぎて、絞り切れていないのが本音です。いまは一応、写真や画像の加工などに興味がありますが、それをそのまま仕事にするかどうかまでは決められません。これから本格的な「ラボ・アトリエ実習」も始まりますし、目標決定はそれからでも遅くないと考えています。

上柿 僕もまだ決めていないですね。入学前に想像していた以上に、幅広い領域を勉強しているので、もう少し悩んでみるつもりです。

石崎 そうですね。将来の道は大切な選択ですから、ぜひともじっくりと悩んでください。我々教員も全力でみなさんの進路をバックアップさせてもらいますよ。



写真左から上柿君、石崎学部長、西山さん

社会情報学部



学部長 & 学生座談会

社会情報学部長 魚住 清彦
社会情報学部2年 前原 翼君
社会情報学部2年 秋田 さとみさん



写真左から前原君、魚住学部長、秋田さん

「人文社会学」と「情報科学」を2本柱とした“文理融合”の学びを展開

想像以上に幅広く学べる

“文理融合型”学部

魚住 “文理融合”が本学部の特色です。前原君は高校時代、文系と理系どちらでしたか。

前原 僕は、理系でした。とくに物理に興味があり、受験のときも青学以外の大学は、すべて物理学科を受けたほどです。

魚住 ほう、そんな前原君が本学部を受験された理由を聞かせてください。

前原 理系の学びを生かしながらも多彩な科目を学べるのが魅力でした。通常、理系の大学でこれだけ幅広い領域は学べませんから。

魚住 なるほど。では秋田さんはどうですか。

秋田 私は、文系でした。でも文系だと教育系や文学系など、進める分野が絞られてしまい、何だか自分自身の可能性まで狭くなるような気がしたのです。それでいろいろ調べるうちに社会情報学部を知り、将来の目標も明確ではなかったので、幅広く学ぶことで自分の可能性を見極めようと思いました。

魚住 2人とも「幅広く学べる」ことを本学のメリットと考えて受験したんですね。実際に1年間学んでの感想を聞かせてください。

前原 勉強に関して一言で言うと「実践力」を養える授業が多いと感じました。講義を聞いてノートを取ったり、丸暗記したりだけの授業ではなく、実際に手を動かして、自らのスキル向上を図るものが多いですね。

秋田 私も想像していた以上に、いろいろな科目を学べて楽しかったです。ただ英語の授業は少し厳しく感じました…。

魚住 英語に関しては、本学部独自のプログラムを用意し、“本当に使える英語”の習得を目指しています。多少、厳しいかもしれませんが、このスキルを身につければ、社会に出て“使える英語”を実感できるは

ずです。

前原 確かに厳しいですね。高校までの文法中心の学び方ではなく、“コミュニケーション”のための英語ですから。でも、これをマスターすれば「ためになる」のは理解できます。

秋田 私のもいままでの英語の勉強の仕方だと、会話なんてできないことを痛感しました。もう一度、一から学ぶつもりで頑張っています。

魚住 数学と英語は、本学部では大切な「基礎科目」と位置づけています。1・2年生で基礎をマスターしておけば、3・4年生で専門分野を追究する際に必ず生きてくるはずですよ。いまの厳しさが“有り難さ”に変わるのは、3年生になってからかもしれませんね。

大切なのは、物事を整理し、構築できる能力

魚住 まだ2年生になったばかりですが、現段階の2人の目標を聞かせてください。

前原 職業的な目標は、まだ決まっていませんが、将来は留学したいですね。しかも、できれば海外に住んで現地の大学院への進学を考えています。語学力の向上はもちろんですが、留学の経験を生かして社会に出る前に“人間的”にも成長したいんです。

秋田 私も大学時代に留学を経験し、卒業後は大学院に進みたいと考えています。ただその前に、自分自身がどんな職業に向いているのかを見極めることが必要です。いろいろ学んで興味のある分野を絞っていく考え方もありますが、学ぼううちに自分に合わない分野をオミットする方法もあるかもしれないと、最近思うようになりました。自分に合わないことの“発見”も大切だと思うのです。まだ狭い視野のなかに閉じこもっている段階なので、どんどん視野を広

げていきたいですね。

魚住 では本学部には、どんな考え方をする人や性格の人が向いていると思いますか。

前原 幅広い分野を学ぶには、それこそ数学やパソコン、英語など、文系理系を問わず、多彩な知識が必要です。そのため、ある程度いろいろなことに対応できる柔軟性が求められるかもしれません。「興味のあることしか勉強しない」という人は厳しいと思います。

秋田 社会情報学部では、前原君が先程言ったように実践的な授業が多く、自分の将来に“役立つ知識”だと実感しながら学べます。積極性があり、前向きにドンドン進んでいけるような人であれば、とても楽しく学べるはずです。あと、緑に囲まれた相模原キャンパスで4年間過ごすのも、ゆったりした気持ちで勉強できるので、私は大好きです。

前原 僕も最初は「青山」のイメージに憧れましたが、いざ通い始めると、相模原キャンパスの落ち着いた雰囲気は安心できます。

魚住 まだ新しく、図書館や演習室などの施設設備も充実しており、相模原キャンパスは学びの環境としては理想的ですよ。もちろん環境だけでなく、学びの質も我々が保証しますよ。大学では、知識をたくさん身につけることも大切ですが、本当に必要なのは、物事を整理し、組み立てられる能力だと私は考えています。最近よく耳にする言葉で言えば、「自ら問題を定義し、自ら解決する力」。本学部では単なる知識ではなく、物事の考え方や処理の方法まで、トータル的な“能力”を身につけていただくつもりです。1・2年生で基礎を固め、3・4年生で大きく羽ばたくカリキュラムが本学部の特色。来年度以降、2人も大きく成長してくれることを期待しています。

現代経済デザイン学科



学部長 & 学生座談会

経済学部長 平澤 典男

経済学部 現代経済デザイン学科2年 小寺 翔太君

経済学部 現代経済デザイン学科2年 土屋 真紀さん

“公共”と“地域”をキーワードに、現代社会が抱える諸問題にアプローチ

いまの時代に必要な

政策や制度を形づくる

平澤 新設学科にどのようなイメージを持って受験されたのかが気になるところです。

小寺 僕は高校3年の夏まで理系でしたが、そのまま理系の大学に進むと、学科によって将来の進路が縛られそうに感じました。それで進路面では幅広い可能性を持つ「経済学」を学びたいと考えるようになったのです。もともと新しいもの好きで、情報誌の新設学科コーナーに青学の「現代経済デザイン学科」を見つけて興味を持ちました。

土屋 私は女子大の附属高校出身ですが、青学の経済学部「現代経済デザイン学科」が新設されると知り、「現代経済デザイン」って何を勉強するんだろう」と気になりました。

平澤 学科名については設立前から議論があって、「内容がわかりづらい」との意見がある反面、「興味を持ってもらえる」という意見もありました。どうやら二人は後者のようですね。安心しました。

土屋 新学科紹介のなかで「公共性」というフレーズがとても印象に残ったのを覚えています。「公共、公共と、よく言葉は耳にするけど、実際はどんなもの?」と疑問に感じ、詳しく知りたいと考えるようになりました。

平澤 入学して1年が経ったわけですが、この1年間の感想を聞かせてください。

土屋 経済には、もう少しゆるいイメージを持っていましたが、とんでもなかったです。最初からいきなり「ミクロ・マクロが、ドーン!」という感じで(笑)。初めは戸惑いましたが、内容を理解できると毎週の授業が楽しくなり、テスト勉強さえ楽しんできました。

小寺 僕も毎日の授業が楽しいですよ。受験前に1年次で学ぶカリキュラムについて経済学科との違いを調べたのですが、

幅広い分野の入門編が多い経済学科に比べて、“現デ” ははじめからいきなりコアな科目が豊富でした。

平澤 経済学科との違いは、よく質問されることです。イメージとしては、経済学科は、経済に関する理論、政策、歴史、国際、環境など、幅広い領域をトータル的に学びます。時間軸で言えば、すべての時代が学問の対象です。一方の現代経済デザイン学科は、「現代」とあるように、学びの対象は「いま」。つまり現代社会が抱える諸問題にアプローチするわけです。現代の諸問題は、医療、環境、雇用、教育、交通、人口、街づくりなど、地域に根付いたものがほとんど。そして地域ごとに問題の特徴も異なります。だからこそ、学びの視座を空間軸上に拡張し「地域」と「公共」がキーワードとなるのです。「現代経済デザイン」を一言で表すなら、「いまの時代に必要な政策や制度を形づくること」と、言えるかもしれません。

“公共”と“地域”の

両方の視点を習得

平澤 さて、2年生の後期からは「公共コース」と「地域コース」に分かれますが、そろそろ卒業後の目標なども見えてきましたか。

土屋 高校時代は小学校教諭になるのが夢でした。母が保育園を経営していることもあり、いまでも教育分野には興味があるので、教員でなくても子どもたちの教育をサポートするような仕事に就きたいですね。教育面も深く関係してくると思い、2年生後期からは公共コースで学ぶことを選択しました。

小寺 僕も公共コースを選びました。ただし将来に関しては、まだ漠然としています。高3で理系から文系に変えたのも幅広い進路を考えてのものでしたし、もう少し広い世界を見てみたいのが本音です。

平澤 なるほど。公共コースでは、政府活動の基本を学ぶことを出発点にして、政府への民間手法の導入、さらにはNPOやNGOの視点など、徐々に研究対象を広げ、現代の新しい公共性について探究します。そこから自分なりに、いろいろな興味を発見してもらいたいですね。また地域コースでは、地域が抱える問題にアプローチするとともに、最新の技術であるGIS(地理情報システム)を取り入れた授業も展開します。これは他大学に先駆けて取り組む本学科の強みのひとつで、例えば地図情報と人口情報を連動させることでエリアの特徴を見出し、コンビニやスーパーの出店計画を調査したり、福祉施設の最適立地を計画するなどの用途で活用できるものです。

小寺 GISは地域コースの必修ですが、僕も関心があったので履修するつもりです。

土屋 私も「青学がすごいことを始める」といった内容をパンフレットで見て、ずっと興味を持っていたので、GISは勉強したいです。

平澤 現代経済デザイン学科では、公共と地域との2コースに分かれて学びますが、さまざまな問題に実際に取り組む現場では、双方の専門家が力を合わせて問題解決に臨みます。そういう意味では、所属するコースで専門性を深めながらも他コースの学びに興味を抱くのは、大変意義のあることです。これからは、徐々に自分自身の目標が明確になっていくと思いますが、これまで同様、常に視野を広く持つことは忘れないでもらいたいですね。



写真左から小寺君、平澤学部長、土屋さん

総合文化政策学研究科 伊藤 真利子さんが 第1回「石橋湛山新人賞」を受賞

総合文化政策学研究科博士課程4年(5年一貫制)伊藤真利子さんが、第1回「石橋湛山新人賞」を受賞し、2009年3月31日(火)に東洋経済新報社で授賞式が行われました。

1975年から人文社会科学系の優秀な研究を表彰し、「石橋湛山賞」を贈ってきた石橋湛山記念財団は、若手研究者を対象とした「石橋湛山新人賞」を2008年度に新設。伊藤さんは第1回目の受賞者に選ばれました。論文「郵便貯金の民営化と金融市場—金融変革期における郵便貯金—」にて賞を受けた伊藤さん本人の喜びの声とともに、指導教員である総合文化政策学研究科の杉浦勢之教授の講評をお届けします。

郵便貯金の民営化は、巨額の国債を所有していたという点で、金融市場に深刻な影響を及ぼしかねない、大きなリスクを抱えていました。郵便貯金が国の事業であれば、金利の上昇により国債の価値が下がったとしても売却に歯止めをかけられますが、完全民営化された場合、価格リスクの高まった国債が自主運用によって一気に放出されると、国債価格の暴落



と長期金利の急騰が金融市場に大混乱をもたらす危険性を伴うからです。今回賞をいただいた論文は、そのような現実的な問題が未解決のまま、小泉改革が推進されていた事実注目し、長期不況からの脱出過程において、国債に依存する資金運

用を脱却しようとした郵政公社と国債の安定消化を目指した財政当局とのせめぎ合いなど、郵便貯金の民営化と金融市場をめぐる実際に起こっていた問題を研究対象としたものです。同時に、わが国の民営化が55年体制の清算という政治的課題からはじまった経緯など、歴史的な位置づけからの検証も加えました。取材時には、郵政公社史のプロジェクトに参加させていただいたおかげで、豊富な資料にアクセスできただけでなく、当時の生田正治・日本郵政公社総裁をはじめ、郵政公社の方々のインタビューに参加する貴重な機会を得られました。多くの材料から一貫した主張を作り上げる難しさはありましたが、当事者の視点から見た問題を忠実に描く方向を見出し、なんとか完成まで漕ぎ着けました。

授賞式では、名だたる選考委員の先生方や出席者の方から講評と激励のお言葉をいただき、受賞に伴う責任の大きさをあらためて実感しました。杉浦先生をはじめ、支えてくださった多くの方々の学恩やご期待に沿えるよう、研究にいっそう精進したいと思います。

総合文化政策学研究科 杉浦 勢之教授

石橋湛山氏は、時流に阿ることなく、信ずる理想を追求した反骨の人物でした。「地の塩、世の光」を体現し社会に貢献する人材の育成を目指す青山学院の学生が、湛山氏の名を冠する賞をいただいたことに大きな意義と喜びを感じています。

今回伊藤さんが取り組んだ研究は、過去の事実を検証するにとどまらず、あくまで今日の課題にどのように取り組むかを歴史的に考えるものでした。受け入れられやすい言葉で器用に理論を展開するのではなく、大きな課題に正面から取り組む誠実な姿勢が受賞に至った一番の要因であるとの評価を伺いました。伊藤さんの今後のますますの活躍を期待しています。

青山学院ヒューマン・イノベーション・ コンサルティング株式会社(Aogaku Hicon) 設立

2008年12月12日に、学校法人青山学院と青山学院大学教員等の共同出資によるベンチャー企業「青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社(Aogaku Hicon)」が設立され、2009年4月より本格的な稼働が始まりました。Aogaku Hiconでは、「協働的な学習環境(Collaborative Learning Workplace)の形成」をコンセプトに、次世代経営や国際社会においてリーダーとなる人材育成を目指し、主に「人材開発事業(教育・研修プログラム)」と「ソリューション・ビジネス事業(コンサルティング)」の分野にアプローチします。

「人材開発事業」については、「国際社会」と「次世代経営」を2本柱とし、それぞれにリーダーとなる人材育成を目指した研修プログラムを用意します。「国際社会」では「国際協働ものづくりプロデューサー育成」「国際協働プロジェクト・マネジメント」「国際協働コミュニケーション・マネジメント」の3つ、「次世代経営」では「ホスピタリティ・サービス・マネジメント」「知的メディア・情報マネジメント」「次世代経営者育成」の3つ、計6つのプログラムに対応。目的に応じた研修内容を構築します。また、一方の「ソリューション・ビジネス事業」については、これら6つのプログラムごとに、ビジネス上での問題や相談に対応するコンサルティング業務を展開していきます。

代表取締役を務める青山学院大学経営学部・社会情報学研究科の玉木欽也教授は、「研究センターと違い、企業として設立されたからには、利益の継続的な確保なども当然必要です。しかし、青山学院との共同出資企業であることを考えれば、教育面への貢献、とくに在学生への還元も大きな役割であると認識しており、当社でのインターンシップの機会も提供したいと考えています」と抱負を語ります。また、取締役の杉村佐壽青山学院常務理事も「大学の進路・就職センターおよび校友会と連携し、学生の就職活動に役立つ企業研究資料の企画・編集に、事業の一環として取り組みます。いわば“企業と現役学生との架け橋”です」と、具体的な施策を披露されました。今回の新しい企業の設立は、人材開発の面で社会への大きな貢献を実現しつつ、本学在学生の教育および人材育成も同時に行えるメリットを生み出します。今後の活動にぜひ注目してください。



<http://www.aogaku-hicon.jp/>

写真左から 玉木欽也教授、杉村佐壽常務理事

2008年度の進路・就職状況について



就職部長
港 徹雄
国際政治経済学部
国際経済学科教授

2008年度は高水準を維持

リーマン・ブラザーズの破綻（2008年9月）を契機とする世界不況は、当初、我が国経済への影響は軽微と考えられていたため、企業は当初の計画に従って積極的な採用活動を継続させました。この結果、2008年度本学の進路・就職決定率は、過去最高水準にあった2007年度の進路決定率に近い高水準を維持しました。

2008年度（2009年3月卒業生）の進路（就職・進学計）決定率は、本学全体で88.5%（2007年度は88.9%）で、このうち文系学部全体では

89.1%（同89.6%）でありほぼ昨年水準でした。学部別では、国際政治経済学部は昨年同様に文系学部で最も決定率が高く92.0%でしたが、前年度比3.3ポイント低下しています。また、文学部では88.8%（同90.0%）であり、経営学部では89.1%（同91.0%）といずれも微減でした。他方、経済学部90.8%（同89.5%）および法学部86.3%（同83.9%）では2007年度よりさらに好転しています。

理工学部 の2008年度進路決定率は95.4%（同97.4%）で、好調だった前年度に比較して僅かな減少に留まり、全学で最高の決定率を持続しています。

第二部（文学、経済学、経営学部）の2008年度の進路決定率は78.1%

で前年度の77.6%をやや上回る水準となりました。

進路決定者 のうち、進学者の割合は、文系学部では2008年度は6.1%で前年度の6.3%とほぼ同水準でした。また、理工学部の進学者比率は34.4%と前年度の30.1%に比較して4.3ポイント高くなっています。

「内定取消」問題の状況

当初は軽微と考えられていた世界不況の日本経済への影響は、株式・不動産等の資産価格の急落および円高による輸出企業の採算悪化とによって、'08年末には実体経済にも深刻な影響を及ぼしはじめました。このため不動産やIT関連など一部業界では企業収益が極度に悪化し、なかには「内定取消」を行う企業も出始めました。本学でも10名の内定取消者（採用条件の変更による事実上の内定取消を含む）が出ましたが、こうした内定取消者を救済するため、卒業要件単位を取得しても卒業が留保できる制度が制定され、4名の学生がこの制度の申請をして認められています。

悪化が見込まれる2009年度の就職

世界不況 が日本経済に及ぼす影響が深刻化するにつれ、主要企業は2009年度の採用計画を縮小しています。これは主要企業平均で前年度比19%減（日本経済新聞社調べ）と「就職氷河期」と言われた時期ほどにはひどくはありませんが、本学学生の主要な就職先である輸出メーカーや金融機関の減少幅が大きく、深刻な影響が懸念されます。こうした状況を緩和するため、進路・就職センターおよび進路グループでは法人・大学執行部と一体となって、学生の就職支援活動の強化をはかっています。

図1 2008年度 進路決定者（内訳：就職者・進学者の構成比）

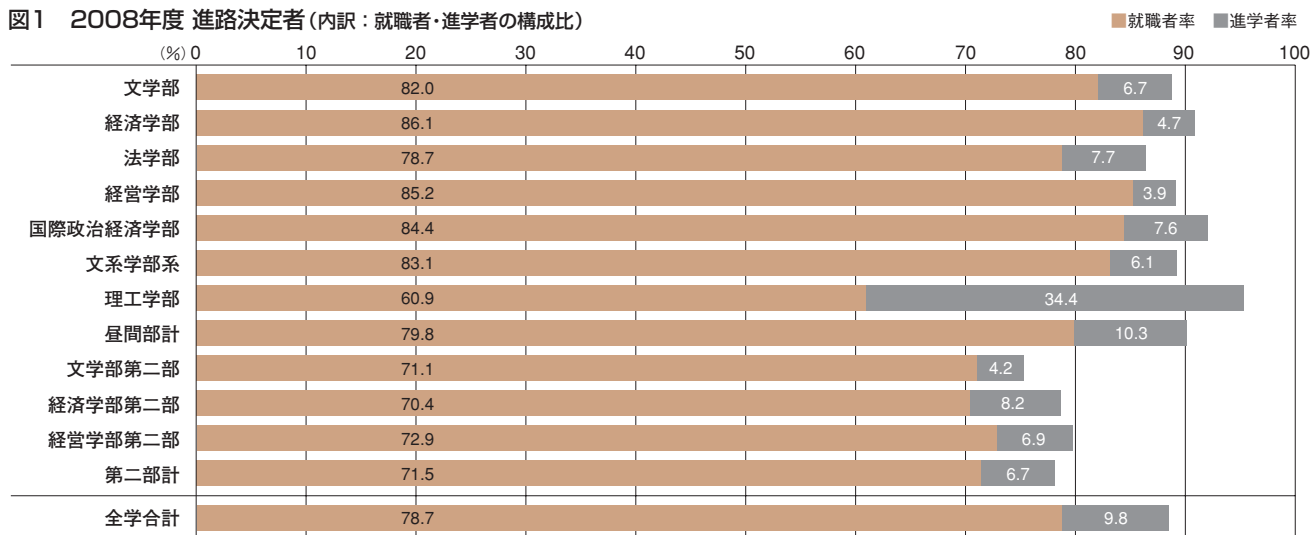


図2 進路決定率（2004年～2008年の推移）

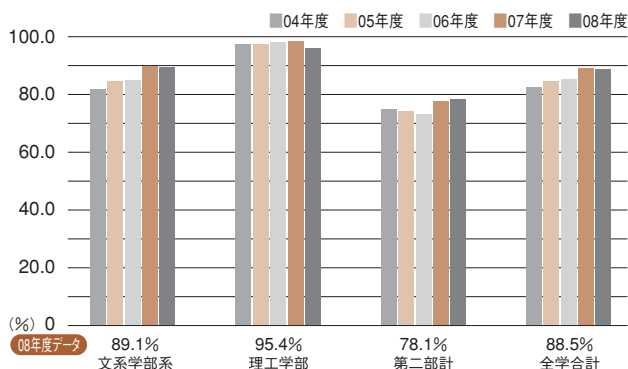
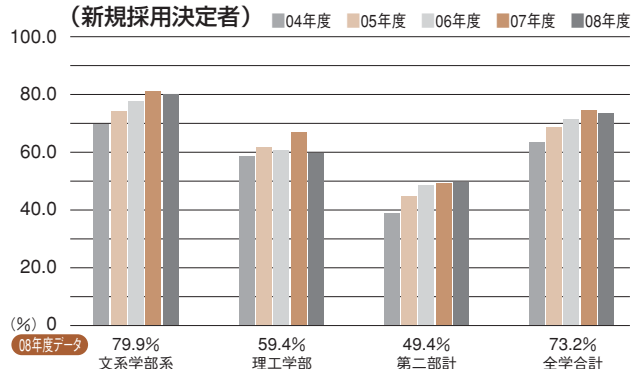


図3 就職決定率（2004年～2008年の推移）



社会に広く門戸を開く「青山学院大学大学院」～本学大学院・専門職大学院への進学を考えるみなさんへ～



副学長
長谷川 信

以前より大学院では、学部を卒業した学生がそのまま大学院生として研究室に残り、質の高い研究を続けることで一人前の研究者として世に輩出されるという流れが一般的でした。もちろんその考え方は今も生きていますし、現に多くの優れた研究者が大学院から巣立っています。しかし、多様化する現代社会を背景に、学部卒業生だけでなく、社会人や留学生がより高度な知識を学ぶための教育機関として、大学院に大きな期待が寄せられています。

すでに実務経験のある社会人が大学院で学ぶ場合、身につけたい技能は、かなりピンポイントな専門的内容になると想像できます。逆に学びの場を提供する大学院側から見れば、求められる学問領域は、院生それぞれによって異なるため、多領域にわたることになります。社会人に門戸を開くことは、“広く学べる環境”とともに、“より深く学べる環境”を用意することが必要となるのです。それは“基礎的理論”と“専門的実践”とが融合した学びと言い換えられるかもしれません。

本学の大学院の大きな特色として、3つの専門職大学院（国際マネジメント

研究科、法務研究科、会計プロフェッション研究科）を、早い段階から設置している点が挙げられます。これは、「より高度な専門教育を受けたい」との社会からの要請にいち早く応えた形です。実際に院生には社会人の方が多く、研究科での学びを自らの仕事の成果につなげようと高い意識で学ばれています。

また、2008年度より「総合文化政策学部」と「社会情報学部」を新設し、学部に関連する形で大学院も同時に設置されました。さらに2009年度には、文学部から教育学科と心理学科が独立する形で「教育人間科学部」が新設され、大学院も新しく「教育人間科学研究科」が設置されました。大学院は現在、学部に対応した9研究科を擁した組織となっています。これらの研究科についても、それぞれの研究科ごとに、社会人および留学生の方々の要望にも対応できる準備を整え、より専門性を追求できる方向へと進んでいくことが大切であると考えています。そのためにもこれまでの研究者養成の役割と、社会の要請に応える役割とをバランスよく学べるプログラムを柔軟に提供していきます。

その他、制度的な面からも昼夜開講制、学部と大学院との一貫教育、助成金制度の充実など、大学院への進学を考えている方々をバックアップする体制も整えています。ぜひとも多くの方々に、本学大学院、および専門職大学院に進学いただき、高い目的意識をとまなう学びを実践していただきたいと思います。

2009年度大学院在籍学生数

（博士後期課程の学生数を除く）

博士前期課程・修士課程・一貫制博士・専門職学位課程 2009.5.1現在			
研究科・専攻		学内進学者数	在籍学生数
文学	教育学※（2009年度より募集停止）	—	9
	心理学※（2009年度より募集停止）	—	11
	英米文学※	—	40
	フランス文学・語学	—	9
	日本文学・日本語	—	13
	史学	—	25
小計		—	107
教育人間科学	教育学※	—	8
	心理学※	2	9
	小計	2	17
経済学	経済学	3	7
	公共・地域マネジメント	6	21
	小計	9	28
法学	私法	0	11
	公法	3	16
	ビジネス法務●	—	100
	小計	3	127
経営学	経営学※	1	25
	小計	1	25
国際政治経済学	国際政治学※	1	39
	国際経済学※	1	14
	国際コミュニケーション※	1	33
	小計	3	86
総合文化政策学	総合文化政策学	1	5
	文化創造マネジメント※	2	18
	小計	3	23
理工学	理工学	123	289
社会情報学	社会情報学	0	36
国際マネジメント	国際マネジメントサイエンス	—	1
国際マネジメント★	国際マネジメント※	—	262
法務★	法務	—	116
会計プロフェッション★	会計プロフェッション	—	180
合 計		144	1297

学内進学者数は学内進学者選抜試験および内部推薦入試による2009年4月入学人数。

※印の専攻は昼夜開講制。

●印の専攻は平日夜間および土曜日の開講制。★印の研究科は専門職大学院。

2009年度教員採用試験報告 （2008年度実施）

本学は毎年数多くの教員を輩出し、社会から高い評価を得ています。

今年度は80人が全国の学校に赴任しました。

2008年度教員免許状取得および2009年度教員採用状況 2009.4.20現在

		免許状取得件数		採用者数							
		幼・小・中・高		公立学校		私立学校		計		合計	
		昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)	昼間部	第二部(夜間部)		
		1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種	1種		
幼稚園		51	8	0	0	8	2	8	2	10	
小学校		74	25	32	9	3	1	35	10	45	
特別支援学校											
中学校	英 語	44	2	4	0	3	0	7	0	7	
	フランス語	4		0		0		0		0	
	国 語	32	5	4	0	0	0	4	0	4	
	社 会	31	2	1	0	2	0	3	0	3	
	理 科	19		0		1		1		1	
	数 学	11		2		0		2		2	
高等学校	英 語	47	2	2	0	0	0	2	0	2	
	フランス語	5		0		0		0		0	
	国 語	37	5	1	0	0	0	1	0	1	
	地理歴史	32	3	1	0	1	0	2	0	2	
	公 民	15	2	0	0	0	0	0	0	0	
	理 科	21		0		1		1		1	
	数 学	11		2		0		2		2	
	商 業	1	1	0		0		0		0	
	工 業	0		0		0		0		0	
	情 報	4		0		0		0		0	
計		259※	39※	49	9	19	3	68	12	80	

※印の免許状取得件数の計は、人数計（大学院生および科目等履修生は除く）。

採用者数は2009年4月20日現在届け出のあった者のみ（非常勤および臨時講師は除く）。

中高一貫校での就任の場合は中学校の採用者数に含む。

セルビア副首相 ボジダル・ジェーリッチ氏 「EU加盟と日本への期待」をテーマに講演

ダボスの世界経済フォーラムで世界の若手トップリーダーの一人に選ばれた、セルビア副首相であるボジダル・ジェーリッチ氏が、2009年4月13日に青山学院大学で「EU加盟と日本への期待」をテーマに講演。学生72名、教授など研究者を含む42名、計114名が参加し、エネルギーに関する報告と活発な討議が繰り広げられました。

まず前置きとして、セルビアが地理的、政治的、歴史的に大国の交差する場にあってゆえに、ヨーロッパで変化がおきるたびに直接的な紛争の場となったことが語られました。そして講演では、セルビアのEU加盟と日本への期待として、3つの点からお話がありました。第1は「旧ユーゴスラヴィアの崩壊」、第2は「コンヴォ独立問題」、第3は「世界経済不況と日本の支援」です。

セルビアのEU加盟については、1990年代の旧ユーゴスラヴィアの分裂と

武力闘争、戦犯の引き渡しに関する問題、さらにはコンヴォ独立に関する国際的権利、国際法絡みの問題など、クリアすべき壁がこれまで多くありました。しかし、それらの諸問題に対し、セルビアは前向きに妥協点を見出していく用意があることをジェーリッチ氏は講演の場で断言。また同時に、日本に対する経済関係の強化への大きな期待感も語られました。

会場との質疑応答では、引きもきりぬ率直な議論があるなど、時間が足りないほどの盛況でした。

(国際政治経済学部 教授 羽場 久美子 記)



セルビア副首相 ボジダル・ジェーリッチ氏

APECを巡る日米協調 ——パトリシア・ハスラック米国APEC担当大使講演——



パトリシア・ハスラック大使

駐日米国大使館の協力を得て、青山学院大学国際交流共同研究センターと国際政治経済学部の主催により、5月25日、総研ビル12階大会議室において、パトリシア・ハスラック米国アジア太平洋協力会議(APEC)担当大使のセミナーが開催され、学外から多くの日米関係者と報道関係者、及び本学の学生が出席しました。パトリシア・ハスラック大使は、これまで米国のインドネシア、パキスタン、インドの各大使館に勤務されたことがあり、ラオス大使を務めたあと現職につかれています。キャリアの女性外交官です。「APECを巡る日米関係」と題して基調講演を行ったあと、会場からの質問にも応じ、モデレーターにこのセミナーを企画した福島安紀子国際交流共同研究センター研究員があたり、菊池努国際政治経済学部教授が討論者として加わりました。

APEC参加地域のGDPは世界のGDPの55%にのぼり、米国貿易のトップ10カ国のうち5カ国がAPECに属しているほどAPEC経済のサイズは大きい。今年はちょうどAPEC創立20周年にあたり、また外交面で新しい理念と方向

性を明確にできてきている米オバマ新政権が、APECではどのような方向を打ち出すのかにも高い関心が集まっています。APEC会議は今年シンガポールで開催され、来年が日本、そして再来年はアメリカでの開催が決まっていますが、他方、リーマン・ブラザーズ破綻以来の世界の経済不況、アメリカの自動車産業を始めとする米国経済の落ち込み、また依然として高い成長を続ける中国経済などの問題と課題を受けて、APECは今、どう対応しようとしているのかが問われています。

質疑応答では、いよいよ来年に迫ったボゴール宣言(アジア太平洋地域の先進国は2010年までに自由で開かれた貿易及び投資という目標を達成する)の実施について日米両国がどう対処するのかなどの質問が出ましたが、大使は慎重に答えられて具体的な米国の方針は示されませんでした。また、当日、北朝鮮が二回目の核実験を行ったため、会場からはオバマ政権の対アジア安全保障政策についても質問が出されましたが、大使はAPECに関係する経済問題だけに話の焦点を絞り手堅く話をまとめられた。あらためてAPECの役割が問われている折からAPECの現場を知るうえで極めて得るところの多いセミナーとなりました。

(副学長・国際交流共同研究センター所長 土山 貴男 記)

相模原キャンパスに、新入生の相談に対応する オリエンテーション・チューターが登場

相模原キャンパスB棟1階のチューデントセンターでは、新入生が履修登録を行うオリエンテーション期間(2009年は4月3日から21日)限定で、新入生からの相談に在学生在が応じる「オリエンテーション・チューター」制度を今年初めて実施しました。毎年、新年度がスタートする時期は、履修のシステムに慣れない新入生が同センターに殺到。混雑によるサービスの低下が大きな課題のひとつでした。そこで在学学生アルバイトが、チューター(在学学生指導員)として新入生の相談業務にあたることで、同センターのサービス面の維持・向上を図るとともに、新入生が気軽に相談できる環境づくりに対応。新入生に1日も早く大学生活に馴染んでもらうた

めに一役買いました。

20名ほどが登録したチューターは、それぞれの授業に支障のない範囲でローテーションを組み、常時3～5名が新入生への対応を行う体制を構築。チューデントセンター内に拠点「在学学生による万(よろず)相談じょ」を開き、訪れる新入生からの相談に気さくに対応する姿が見られました。同センターでは、先輩チューターに“お世話になった”1年生が、来年は新入生のためにチューターを志願するという流れにも期待したいとのこと。初々しい新入生を前に、頼もしいオリエンテーション・チューターの活躍する姿が、来年度以降“春の風物詩”として定着するかもしれません。



写真左から青木美土里さん、向高立一郎君、栗林真悟君

透明酸化物薄膜に関する国際会議で、 理工学研究科・機能物質創成コースの大学院生2名が Best Poster Awardを受賞

4月15～17日に、東京ビッグサイトのTFTビルで第6回透明酸化物薄膜に関する国際会議（TOEO-6）が開催されました。光エレクトロニクスや環境技術分野で必要不可欠な機能性酸化物薄膜に特化した国際会議で、3日間にわたる研究発表並びに討論会に、10カ国を越える国々から約300名の研究者が参加。本学からも、理工学研究科・機能物質創成コース（重里研究室）の13名の大学院生と博士研究員が合計15件の研究発表を行いました。ポスターを使った研究発表は、全部で175件あり、海外からの招待講演者と学会組織委員による投票で8件のBest Posterが選出されますが、本学の博士前期課程、三野雄太君と村田亜紀代さんの研究発表がBest Posterに選ばれました。

三野君は、潤滑資源であるInを全く用いない透明導電膜である高性能Nbドープ酸化チタンの合成方法に関して、実用化のための画期的なブレイクスルーを行ったもので、持続可能なディスプレイ産業の発展に必要な研究であると評価されました。また、村田さんは、可視光応答型光触媒である酸化タングステン薄膜に白金ナノ粒子を担持させることで光触媒活性度の向上に成功したとの研究であり、介護施設、病院などのさまざまな福祉施設での実用化が期待されています。



写真左から 村田さん、三野君

青山学院大学とソフトバンクモバイル、ソフトバンクテレコムが、 モバイル・ネット社会の教育・研究について基本協定を締結

青山学院大学と、ソフトバンクモバイル株式会社およびソフトバンクテレコム株式会社は、「iPhone 3G」（アップル社製）を通じて、モバイル・ネット社会やユビキタス・コンピューティング、知識情報社会について、共同で研究・教育を行うための基本協定を締結しました。今後、グローバルでユビキタスなモバイル・ネット社会に通用するアプリケーションやシステムを研究開発し、そのライフスタイルを広く提案、そしてこれを担える人材を育成していきます。

この協定に基づき、本学の社会情報学部では、「iPhone 3G」を社会情報学部の全在學生に配布し、研究・教育に活用。同学部は設置2年目のため、現段階では約550台の導入ですが、完成年次には教職員を含めて1,000台規模の導入となる予定で、この規模の大学教育・研究への導入は、日本初の試みとなります。

具体的には「iPhone 3G」の活用を次のように考えています。

- 「iPhone 3G」を大学標準のメールシステムやグループウェアと連携し、授業資料や教材の配布、出席管理、ミニテスト、授業収録放送を行い、学習に活用します。
- グループワークを多用する授業などにおいて、同一通信事業者により通話費用が軽減され、コミュニケーション活性化にも期待ができます。
- 低学年の学生は「App Store」にある世界的競争で優位なアプリケーションを探し出し、生活の中で体感し、新たなライフスタイルの提案に活用します。また、学部の授業内でも学習理解に有益なサイトやアプリケーションを提供し、学内でもさまざまな情報を交換する場を提供します。
- 高学年の学生は、モバイル・ネット社会を構築するサイトやアプリケーションシステムを研究・開発し、将来的にはここでのアイデアや開発が世界マーケットで流通し、「iPhone 3G」で利用できるようになることを目指します。

技術士第一次試験・機械部門に、 理工学部機械創造工学科の学生が多数合格！

2008年度の技術士第一次試験・機械部門において、理工学部機械創造工学科の学生37名および大学院生10名が見事に合格を果たし、昨年度の学部生16名の合格から大きく合格者数を伸ばしました。

「技術士」とは、科学技術に関する高度な専門知識と豊富な実務経験、および倫理観を備えた技術者として認定される権威ある国家資格で、「機械」「電気電子」「経営工学」など全部で21の技術部門があります。第一次試験の合格者は「修習技術者」となり、(社)日本技術士会に登録手続きを行うことで「技術士補」となれます。なお、修習技術者は、定められた年数の実務経験を経た後に第二次試験に合格し、登録することで「技術士」を名乗

ることが可能です。

今回の合格者輩出について、機械創造工学科の渡邊昌宏准教授は、「技術士第一次試験に合格するためには、機械工学の基本となる4つの力学（材料力学、流体力学、熱力学、機械力学）に関する知識・技術をしっかりと修得しておくことが大切です。今回の大幅な合格者数の増加は、学生が日頃培ってきた学習の成果を試験で発揮してくれたことが要因だと思います」と、3年次までに機械工学に必要な全ての力学の基礎を学べるカリキュラムの効果が大きかったと語ります。海外でも活躍する場が広がりつつある「技術士」の第二次試験合格を目指し、今回の合格者たちのさらなる飛躍に期待します。

●青山スタンダード「キリスト教理解関連科目」特別講座 バッハ・コレギウム・ジャパン・レクチャーコンサート

6月1日(月)、青山キャンパス・ガウチャー記念礼拝堂において、6回目を迎えるレクチャーコンサートが開催されました。今回、講師の鈴木雅明先生はバッハのモテットから3曲を取り上げ、音楽におけるバッハの信仰の表現について、大変示唆に富んだ興味深いお話をしてくださいました。特に、部分的に演奏を切り出し、バッハがそれによって表現しようとした内容を解説いただいたことは、来場された聴衆にとって、まさに貴重な体験だったと思います。それぞれの曲のレクチャーの後には演奏が行われ、来年への期待が高まるなか、700人を超える超満員の万雷の拍手をもって、コンサートは無事終了しました。



●2009年度新入生歓迎スポーツ (バスケットボール、フィットネス体験会)大会開催

6月14日(日)、相模原キャンパスにおいて新入生歓迎スポーツ大会が開催されました。相模原キャンパス開学以来恒例となっているバスケットボール大会については、A棟アリーナにおいて、一般23チーム、女子13チームによるトーナメント形式にて試合が行われ、一般チームは「CUBA freshman」、女子チーム「ABUC☆2」が優勝しました。また、フィットネスセンターによるフィットネス体験会もあわせて行われ、エアロビクス、ヨガ、ナチュラルビューティー、栄養相談会など趣向を凝らした内容により、参加した学生たちは大いに盛り上がりを見せていました。



バスケット一般優勝「CUBA freshman」



バスケット女子優勝「ABUC☆2」



バスケットボール大会風景



バスケットボール大会風景



フィットネス体験会



フィットネス体験会

●清里サマー・カレッジ

静かな大自然の中にある山梨県清里・ハガ岳寮で、学生と教員が生活を共にしながら、聖書や讃美歌に親しみ、年齢や学部・学科にとらわれずに参加者同士が語り合える良き機会です。2009年度は8月3日(月)～5日(水)、「地球の暮らし方」という主題のもとに開かれます。特別講師に国際飢餓対策機構の特命大使 神田英輔氏をお招きします。25年間、開発途上国の自立を支援してきた先生の貴重なお話を聞けるチャンスです。お問い合わせ先:青山学院宗教センター TEL 03-3409-6537

●対東北学院大学総合定期戦報告

6月6日(土)から6月8日(月)までの3日間、第60回対東北学院大学総合定期戦が東北学院大学にて開催されました。

残念ながら初日は予期せぬ豪雨に見舞われ、予定されていた仙台市内のパレードは中止となりましたが、第60回の記念大会を成功させようという学生達の思いが通じたのか、天候も回復し、初日のバスケットボール・剣道などを皮切りに、2日目はラグビー・バレーボール・卓球・柔道など、各会場で熱戦が繰り広げられました。

またスポーツだけでなく、吹奏楽部の交歓会や応援団によるリーダー公開が行われ、定期戦を盛り上げました。

総合成績は本学11点、東北学院大学23点と残念ながら記念大会を勝利で飾ることはできず、また通算成績も37勝23敗と近年劣勢にたたされております。

この歴史ある定期戦を通して、両校の絆・友情を一層深めることとなり、またこの定期戦を次の世代まで残していくことを誓い合っており、第60回の総合定期戦は終了いたしました。



●相模原祭のお知らせ

2009年度も10月10日(土)、11日(日)に相模原祭が実施されます。これまで相模原祭では人文・社会科学系学部の1・2年生および理工学部の学生が中心となり、展示会、演奏会、ダンス大会、各種模擬店などの催し物が実施されてきました。相模原祭は回数を重ねるごとに大学内外での注目が集まり、より多くの学生が参加する盛大なものになってきており、7回目を迎える今回はさらに充実した学園祭になるものと思われます。現在、実行委員の学生たちが相模原祭を成功させるべく、日夜準備に励んでいます。10月にはきっとご期待に応えられる相模原祭が開催されることでしょう。

●課外教育プログラム

「旬野菜の健康家庭料理」

6月14日(日)三鷹市郊外にある星野農園にて、「旬野菜の健康家庭料理」が15名の参加により実施されました。この講習会は野菜収穫の体験の場として、また食事作りを通して参加者の交流の機会を設けることを目的に企画されています。

駅からバスで星野農園へ。住宅街の中にもかかわらず、足を一歩踏み入るとそこはまさに田舎の農家の風景で、とても東京に居るとは思えない自然豊かな環境でした。まずは食材を得るために畑へ移動。学生たちの中には畑へ足を踏み入れるのが初めての人もおり、自分でナスや玉ねぎを採った際には喜びの声をあげ、一人ひとりが収穫を楽しみ笑顔にあふれていました。

その後はグループに分れてイタリアンに挑戦し、前菜とスパゲティと肉料理の3品に取り組みました。包丁使いに不慣れであったり、料理の段取りがうまくいかないところもありましたが、講師の先生の指導により、それぞれのグループが採り立ての新鮮な野菜を用いて美味しい料理を作り上げることができました。最後は自分たちの作った料理を食し、参加した学生の楽しい会話は途切れることがありませんでした。

今回の企画を通じて、普段私たちが何気なく食べている食物も、農家の人の労苦と働きにより食べることができるのだと改めて理解し、農業の必要性について再認識することもできました。参加した学生からは普段の教室の授業と違い、「自然の中で気持ちよくリフレッシュできた」「心もお腹も満足したので、是非次回も参加したい」という声を多数頂くことができました。



「科学・技術の視点(総合科目)」



福岡 伸一

理工学部化学・生命科学科教授

この講義の目的は、単なる知識の祖述ではなく、できるだけ考え方のスタンダードを示すことが目的です。大学生にとって、考え方のスタンダードとは何でしょうか。私たちはそれを健全な懐疑心であると位置づけます。この世界にはさまざまな言説が満ちあふれています。どれももっともに聞こえます。大学入学以前の学び方であれば、教えられたこと、本で読んだことを素直に受け入れていればよかったのですが、これから先はそれだけではすみません。さまざまな言説をよくよく吟味したうえで、自分のオピニオンを持ち、それを示さなければならぬのです。オピニオンにはロジックが必要です。ここでは、健康、病気、環境、自然など生命現象をめぐる諸問題のありかを紹介したうえで、どこに論点があるのか考えていきます。



たとえば食品添加物というものがあります。人間にとって便利な薬物は、微生物にとっては毒物であり、それは生命現象という一枚のコインの表と裏を見ているにすぎません。薬であるとともに毒であるものが、私たちの身の回りにはたくさん存在し、それを私たちはありがたく服用し、あるいは時に、さりげなく食品や飲料に紛れ込んでいたりします。しかもその所在は、裏側に張られた表示ラベルの片隅にしか表示されていません。これは果たして安全なのでしょう。講義では、実際、ラベルを「採集」し、そこに記載されている物質を調べてきてもらってレポートを課しました。ただし、私の言いたいのは「買ってはいけない」ということではないのです。真実はいつも、とても小さな声でしか語られないということなのであり、それゆえそと、耳をすませなければならないということなのです。そしてその声を聞き取るために必要なのは懐疑的な心のあり方です。

講義は、3名の講師によりリレー形式で行われています。講師は、細胞生物学に詳しく、電子顕微鏡の権威でもある山科正平先生(元・北里大学医学部解剖学教室)、生化学が専門の小嶋久子先生(元・北里大学医学部生化学教室)、そして私、福岡伸一です。講義の概要は次のとおりとなっています。

●講義概要

【福岡 伸一】

身近なトピックスを題材に、健康、病気、食、環境など、生命科学をめぐる諸問題のありかや考え方を講述する。

【山科 正平】

複雑な人体の成り立ちを、平易な図を活用しながら理解してもらう。

●授業計画

【福岡 伸一】

第1回 目: 狂牛病が問いかけたものについて考える

第2回 目: 食品添加物と食の安全について考える

第3回 目: 体重はなぜ増えるのか

第4回 目: まとめと小テスト

【小嶋 久子】

第1回 目: 医療の今日的課題—インフォームド・コンセント、先天性異常、高齢者の在宅医療、医療問題の基礎は経済問題

第2回 目: 脳について—飲酒・喫煙・海馬の三題断

第3回 目: 環境と酸化ストレス

第4回 目: まとめと小テスト

【山科 正平】

第1回 目: からだは細胞から出来ている

第2回 目: 病気とは何か

第3回 目: なぜ病気は治るのだろうか?

第4回 目: まとめと講義と到達度測定テスト



報告・お知らせ

2009年度公開講座 後期開催

本学では、大学での教育及び研究の成果を広く社会に開放し、社会人の教養を高め、文化の向上に資することを目的に、地域社会への貢献という使命から1990年より公開講座を開講しています。

本学公開講座はテーマに基づき1シリーズ5講座で構成され、年齢や資格による受講の制限はなく、どなたでも受講いただけます。各講座の内容・申込方法などの詳細については青山学院大学ホームページ、またはガイドブックをご請求の上、ご参照ください。

公開講座ホームページ(ガイドブック請求・講座申し込み) <http://www.aoyama.ac.jp/extension/index.html> お問い合わせ・ガイドブック請求 庶務部庶務課(公開講座担当) TEL. 03-3409-7955(直通)

【青山キャンパス開講】

●『王の表象—文学と歴史学の境界—』

(10月3日から11月7日(10/31を除く)・毎週土曜日・全5回・14:30~16:00)

【相模原キャンパス開講】

●『激動する社会と私たちの暮らし—様々な情報とどう向き合うのか—』

(市民大学青山学院大学コース)

(10月3日から11月7日(10/10を除く)・毎週土曜日・全5回・14:30~16:00)

●『世界の諸宗教と平和』

(11月14日~12月12日・毎週土曜日・全5回・14:30~16:00)

*いずれの講座も事前に申し込みが必要です。

YOMIURI ONLINEにて「青山学院スタイル」を掲載中

読売新聞社がWeb上で展開する「YOMIURI ONLINE」に、大学広報として2007年4月から「青山学院スタイル」を毎月掲載しています。3年目となる2009年4月からは全面リニューアルして、「研究と教育」「学びと生活」の視点から青山学院大学の「いま」を発信していきます。「研究と教育」では文部科学省の教育改革等支援プログラムに採択された取り組みをわかりやすく紹介。「学びと生活」では、各学部の学生が特長のある授業やゼミなどの学びと、学生生活について紹介していきます。ぜひご覧ください。(2007年、2008年のバックナンバーもご覧いただけます)
http://www.yomiuri.co.jp/adv/agu2009/

News Index 2009.4~6

2009年4月~6月までの大学ウェブサイト「新着情報」の主なタイトルを掲載しています。

09年4月

- 「春の叙戦」河野久 大学特別招聘教授が瑞宝重光章受章
- 総合文化政策学部の学生が企画・制作を担当した「@キャンパス」がNHK BS-1で放送されました

09年5月

- 青山学院大学とソフトバンクモバイル、ソフトバンクテレコムはモバイル・ネット社会の教育・研究基本協定を締結
- 理工学部機械創造工学科 公募「助手または助教、材料力学」(～2009 10/16消印有効)
- 理工学部 春山純志 准教授のグループの研究成果が日経産業新聞の一面トップに掲載されました

09年6月

- 2010年度入学試験情報、「大学案内 2010」を公開しました
- 「青山学院スタイル2009」で「eメンタ育成講座」を紹介
- 地域の教育力をイノベーションする「ワークジョブデザイナー育成プログラム」の(第2期・第3期)申込募集について
- 陸上競技部の全日本大学駅伝への初出場が決定しました!

現代経済デザイン総合講義・松沢知事による講演

4月15日に、経済学部現代経済デザイン学科の1年生を対象とした「現代経済デザイン総合講義」の第1回目講師として、神奈川県知事松沢成文氏を相模原キャンパスにお招きしました。この授業は、現代経済デザイン学科の教員が順次教壇に立ち、それぞれの専門分野の立場から、同学科で学ぶべき方向性を学生たちに示す目的で実施。今年度は教員に先立ち、現職の知事による講演を企画しました。

松沢知事は、「大都会と自然」の多様性をもつ神奈川県の魅力や、新しい公共サービスを生み出すための、先進力と協働力を核とした「神奈川力」について、具体的な施策をあげながら講演。「公共」と「地域・コミュニティ」が創り出す「新しい公共性」について学ぶ、現代経済デザイン学科の学生にとって大変有意義なものとなりました。

(経済学部教授 高橋 重雄 記)

法務研究科が、2008年度法科大学院認証評価にて、法科大学院評価基準に「適合」と認定

本学の法務研究科(法科大学院)は、「財団法人日弁連法務研究財団」の認証評価において、同財団が定める法科大学院評価基準に「適合」として認定されました(3月31日)。これは、本研究科において、法科大学院の理念にそって養成しようとする法曹像を明確にし、個性ある法曹養成教育に誠実に当たってきた成果が評価されたものと受けとめています。

本研究科では、この度の認証評価によって高い評価が与えられ、あるいは適合とされた諸点については一層の強化充実をはかり、また若干の項目において改善の必要あるいは余地があるとされた諸点については、着実に改善を進めていく方針です。なお、進級・修了要件の一層の厳格化、修了認定に対する異議申立制度の導入、教育・学修支援に与る助手2名の採用など、昨年11月の同財団による実地調査以降、すでに充実・改善に向けて一歩踏み出していることを付言しておきます。



Club & Circle Information

【問い合わせ先 学生部学生課 Tel 03-3409-7835】

*主な文化連合会・体育連合会の活動予定。
下記大会演奏会の日程・場所は予定のものです。
今後変更になる可能性もあります。

主要活動予定(2009年8月～11月)

合気道部 第49回全日本合気道演習大会(11月)
アイススケート部(ホッケー部門) 日本学生氷上競技選手権大会予選(10月)
アイススケート部(フィギュア部門) 東日本学生氷上競技選手権大会(10月)
アメリカンフットボール部 秋期リーグ戦(9～12月)
居合道部 第42回東日本学生居合道大会出場(10月)
空手道部 全日本大学選手権(11月)
硬式庭球部 関東学生テニスリーグ(10月)

硬式野球部 東都大学秋季リーグ戦(9～10月)
剣道部 全日本団体(10月)
拳法部 全日本学生個人選手権(10月)
射撃部 秋季関東学生ライフル射撃大会予選会(8月)
サッカー部 J.R.東日本2009第83回関東大学サッカーリーグ戦(9～11月)
柔道部 全日本学生柔道体重別選手権大会(9～10月)
準硬式野球部 東都大学秋季リーグ戦(9～11月)
少林寺拳法部 第43回少林寺拳法全日本学生大会(10月)
ソフトテニス部(男子) 全日本ソフトテニス大会(8月)
ソフトテニス部(女子) 全日本インカレ(8月)
水泳部 日本学生選手権(9月)
卓球部 全日本学生卓球選手権(10月)
テニシング部 JAPAN CUP日本選手権(8月)
軟式野球部 東都大学軟式野球選手権大会(8～10月)
バスケットボール部(男子) 第58回関東大学バスケットボールリーグ戦(9～10月)
第61回全日本大学バスケットボール選手権(11～12月)
馬術部 関東学生馬術選手権大会(9月)
バドミントン部(男子) 関東学生バドミントン秋季リーグ戦(9月)
バドミントン部(女子) 関東大学バドミントン秋季リーグ戦(9月)
バレーボール部(男子) 秋季関東大学女子バレーボールリーグ戦(9～10月)
バレーボール部(女子) 関東大学バレーボール秋季リーグ戦(9～11月)
パワーリフティング部 関東学生パワーリフティング大会(11月)
フェンシング部 関東学生選手権大会(10月)

レスリング部 全日本学生王座決定戦(9月)
陸上競技部 第86回箱根駅伝予選会(10月)
ラグビー部 関東大学対抗戦Bグループ開幕(9月)
青山アソシエーション 新人コンサート(11月)
青山アソシエーション 発表会(10月)
争点八研究会 定期演奏会(10月)
競技ダンス部 松前杯学生競技ダンス選手権大会(9月)
東都大学学生競技ダンス選手権大会(10月)
天野杯学生競技ダンス対抗戦(11月)
東都日本学生競技ダンス選手権大会(11月)
E.S.S. チャーチル杯スピーチ大会(11月)
オーケストラ部 第95回定期演奏会(11月)
グリーンハーモニー合唱団 東京六大学混声合唱連盟合唱祭(9月)

主要活動報告(2009年5月～7月)

硬式野球部 東都大学春季リーグ戦 2位
バスケットボール部(男子) 第58回関東大学バスケットボール選手権大会 3位
サッカー部 第83回関東大学リーグ戦【前期】 3位
馬術部 第36回関東大学馬術大会東京陸軍110 元野法子 3位
リズムマンドリン ジョイントコンサート(他大学とのジョイント)
グリーンハーモニー 第51回定期演奏会
ロイヤルサントジャズオーケストラ 東京大五月祭出演

いよいよ「青学オープンカレッジ」がスタートします

いよいよ9月より、青学オープンカレッジが開校します。「美を求めて」「文学の世界」「歴史を探究」「国際政治を読む」「ビジネス・経済」「地球環境」「人と社会の哲学」「科学する心」というテーマをもとに、全19講座をご用意します。また、青山学院大学の近隣の美術館や歌舞伎座のご協力を得て、単に授業を受けるだけではなく、受講者が講座に参加するあたりの本学だからこそできる講座もいくつか設けます。いずれも、青山学院大学にふさわしいオープンカレッジプログラムとなっておりますので、ご期待ください。

すでに青学オープンカレッジ開校記念として、「青山リレートーク」を実施しています。「青山リレートーク」は、各界の著名な方々による月1回の連続講演会で、今後もシリーズとして開催します。第1回は5月16日(土) 青木保氏(文化人

類学者・文化庁長官)、7月18日(土) 森英恵氏(ファッションデザイナー)をお招きし、多くの方にご来場いただきました。

「青山学院で学ぶ 贅沢な時間」を共に過ごしませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

青学オープンカレッジ詳細については、下記URLにて随時、更新していきます。

*青学オープンカレッジパンフレット請求

青学オープンカレッジ各講座申込

http://www.j-aoyama.jp/

お問い合わせ先: 青学オープンカレッジ事務局 TEL.03-3409-8501

受付中

大学学費納付について

(※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください)

1.学費振込依頼書発送時期

- (1) 後期振込依頼書発送予定日9月4日(金)【納入期限9月30日(水)】
- (2) 学費振込依頼書は、上記の日程で保証人宛(申し出のあった場合は学生宛)に送付いたします。
- (3) 学費振込依頼書に記載の銀行本・支店での振込みは、振込手数料は無料です。
その他の都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、農業組合等での振込みは、振込手数料が必要になります。

※注意 ATM(自動振込機)による振込はしないようご注意ください。
(学生番号、学生氏名の確認ができないため)

2.下記事項問い合わせ先(学費未納等事故防止のため)

- (1) 住所変更(保証人・本人) → 学生部厚生課(青山キャンパス)
学生生活グループ(相模原キャンパス)
- (2) 休学・退学希望者 → 青山キャンパス所属学生は
学務部教務課(青山キャンパス)
相模原キャンパス所属学生は
学務グループ(相模原キャンパス)
- (3) 学費振込依頼書紛失 → 財務部本部資金グループ
- (4) 転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等の学生の学費は、
財務部本部資金グループにお問い合わせください。

3.延納を希望する場合は、納入期限までに各キャンパスの学生部または学生生活グループへ願い出てください。

無断で学費を滞納すると除籍になる場合もありますので注意してください。

青山キャンパス 学生部学生課 03-3409-7835
相模原キャンパス 学生生活グループ 042-759-6004

2009年度後期学費一覧表(入学年度別)

単位:円

年度	2009年度入学生	2008年度入学生	2007年度入学生	2006年度入学生
学部	後期	後期	後期	後期
文学部		391,500	391,500	391,500
教育人間科学部				
経済学部				
法学部				
経営学部	391,500	391,500	391,500	391,500
国際政治経済学部				
総合文化政策学部				
理工学部	565,500	565,500	565,500	565,500
社会情報学部	478,500	478,500		
文学部第二部	246,000	246,000		
経済学部第二部			246,000	246,000
経営学部第二部				

- ・上記以外に、教育職員免許状取得の希望を申請した者は教職課程料、また、各種資格取得の希望を申請した者は、資格課程料が後期学費に加算されます。
教職課程料7,000円、司書教諭2,000円、司書2,000円、社会教育主事2,000円、学芸員2,000円(※申請年度ごとに徴収)
- ・転部・編入学・転学部・転学科・再入学・留年等は上記学費一覧表から除きます。

財務部本部資金グループ 03-3409-6479(直通)

学部4年次留年生(在籍5年目以上(休学期間を除き)で4年次に留年した学生)の後期学費納付について

1.学費振込依頼書発送時期

後期履修登録後の発送になります。

10月16日(金) 発送予定【納付期限11月13日(金)】

2.納入金額

- ①前期分所定の学費等(前期授業料および諸費)で納入の学生
→後期学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。
前期科目申請単位数、通年科目申請単位数だけで、すでに「年間所定の学費上限単位数」に達しておりますので、後期科目申請単位数に関わらず前期・後期とも所定の学費となっています。

- ②前期に、申請単位計算学費(費目は授業料のみ)で納入の学生
→後期学費は、「後期科目」履修申請単位数による単位料となります。(申請単位数×単位料)

但し、前期科目申請単位数、通年科目申請単位数と後期科目申請単位数の合計が「年間所定の学費上限単位数」に達した場合は、所定の年間学費と前期納入学費との差額をもって上限といたします。

納入予定額の確認につきましては、財務部本部資金グループにお問い合わせください。

財務部本部資金グループ 03-3409-6479(直通)

(お詫び) No.45(2009年1月~3月)に掲載しました「2009年度大学学費一覧表(入学年度別)」に一部誤りがあり、皆様にはご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

2009年度ペアレンツウィークエンド 今後の開催日程

2009年度ペアレンツウィークエンドの今後の開催日程をお知らせいたします。
お申し込みは、ご案内に同封の専用ハガキ、もしくは青山学院大学ホームページ上で受付中です。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

キャンパス開催

学部	実施日	開催場所
理工学部	10月10日(土)	相模原キャンパス
社会情報学部	10月11日(日)	

開催時間●13:00~16:00

対象:どなたでもご参加できます。

【ペアレンツウィークエンドに関するお問い合わせ先】

庶務部庶務課

TEL.03-3409-8568(ダイヤルイン)

ペアレンツウィークエンドURL

<http://www.aoyama.ac.jp/target/parents/>



地区全体説明会(福岡会場)

地区開催

会場	実施日	開催場所
山口	7月25日(土)	山口グランドホテル
福岡	7月26日(日)	ソラリア西鉄ホテル
函館	8月1日(土)	ロワジールホテル函館
米子	8月1日(土)	米子全日空ホテル
札幌	8月2日(日)	ホテルオークラ札幌
秋田	8月9日(日)	秋田キャッスルホテル
高松	8月9日(日)	全日空ホテルクレメント高松
京都	8月22日(土)	ホテルグランヴィア京都
岡山	8月23日(日)	ホテルグランヴィア岡山
静岡	8月29日(土)	ホテルアソシア静岡
名古屋	8月30日(日)	キャッスルプラザ
高崎	9月6日(日)	高崎ビューホテル
徳島	9月12日(土)	ホテルクレメント徳島

開催時間●10:30~15:00(会場によって時間が異なる場合があります)

対象:全都道府県在住、全学部全学年の保護者の方。お住まい近くの会場に限らず、どの会場にご出席いただいても結構です。

夏期休業期間中の窓口案内

対象期間 8/1(土)～9/20(日) ※事務室移転のため変更になる場合があります。
一斉休業期間 8/1(土)～8/7(金) ※詳細は各キャンパスの掲示板をご覧ください。
※窓口事務は祝日は取り扱っていません。

部 署	窓口事務取扱期間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
庶 務 部	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	9/12(土)より平常通り
教 務 課	8/8～9/11	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	9/24(木)より平常通り
	9/12～9/20	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	
教 職 課 程 課	8/8～9/11	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	9/24(木)より平常通り
	9/12～9/20	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	
学 生 部	8/8～9/11	火・木	9:00～19:00(12:00～13:00は除く)	9/24(木)より平常通り
	9/12～9/20	月～金	9:00～19:00(11:30～12:30は除く)	
進路・就職センター事務室	8/8～9/11	月～金	9:00～11:30, 12:30～15:30	土曜のみ9:00～12:00
	9/12～9/20	月～土	9:00～11:30, 12:30～16:00	
進路・就職センター資料室	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	土曜のみ9:00～13:00
	9/12～9/20	月～土	9:00～17:00	
図 書 館	8/8～9/11 (8/8は停電のため休館)	月～土	9:00～19:00(土曜のみ12:00～19:00)	9/12(土)より平常通り 休館中の本の返却は 図書館正面のブックポストに入れてください
専門職大学院事務室	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/14(月)より平常通り
大 学 院 事 務 室	8/8～9/11	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	
	9/12～9/20	月～土	9:00～18:30(15:00～16:00は除く)	土曜のみ9:00～13:00(11:30～12:30は除く)
広 報 入 試 セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	9/12(土)より平常通り
総 合 研 究 所 事 務 室	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/12(土)より平常通り。総合研究所図書室は夏期休業期間閉室
情 報 科 学 研 究 セ ン タ ー	8/8～9/6	月～金	9:00～19:00	9/24(木)より平常通り
	9/7～9/20	月～土	9:00～19:00	
国 際 交 流 セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～15:30(11:30～12:30は除く)	9/14(月)より平常通り
	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	
外 国 語 ラ ボ ラ ト リ ー	9/12	土	9:00～13:00	11:30～12:30は事務取扱休止 9/24(木)より平常通り
	9/14～9/20	月～土	9:00～19:00	
学 生 相 談 セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	9/24(木)より平常通り
	9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ11:30まで)	
保 健 管 理 セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～15:30	9/24(木)より平常通り
	※8/18～8/25	月～金	9:00～15:30, 17:30～20:00	11:30～12:30は除く
	9/12～9/20	月～土	9:00～16:00(土曜日のみ11:30まで)	
宗 教 セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	9/24(木)より平常通り
	9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	

ユ ニ ャ ッ ト	グ ル ー プ	窓 口 事 務 取 扱 期 間	曜 日	取 扱 時 間	備 考
学 生 支 援 ユ ニ ャ ッ ト	ス チ ュ ー デ ン ト セ ン タ ー	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/12(土)～9/19(土) 月～金 9:00～16:00 (11:30～12:30は除く) (土曜日のみ11:30まで)
	学 務 グ ル ー プ				
	進 路 グ ル ー プ				
	学 生 生 活 グ ル ー プ				
教 育 ・ 学 習 支 援 ユ ニ ャ ッ ト	国 際 交 流 セ ン タ ー	8/8～9/11	火・金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/24(木)より平常通り
	健康増進グループ(保健管理センター事務室)				
	健康増進グループ(学生相談センター事務室)				
	授 業 支 援 グ ル ー プ	8/8～9/11	火・金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/12(土)より平常通り
	情報教育支援グループ(情報科学研究センター)	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	
		9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	
研 究 支 援 ユ ニ ャ ッ ト	図 書 グ ル ー プ (図 書 館)	8/8～9/11	月～土	9:00～16:00(土曜のみ12:00から)	9/24(木)より平常通り
		9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	
	メ ディ ア ラ イ ブ ラ リ ー グ ル ー プ	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	
		9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	
施 設 ユ ニ ャ ッ ト	研 究 支 援 グ ル ー プ	8/8～9/11	月～金	9:00～16:00(11:30～12:30は除く)	9/12(土)より平常通り
施 設 ユ ニ ャ ッ ト	企 画 ・ 渉 外 グ ル ー プ				
施 設 ユ ニ ャ ッ ト	庶 務 グ ル ー プ				
施 設 ユ ニ ャ ッ ト	施 設 グ ル ー プ				
財 務 部 大 学 相 模 原 経 理 グ ル ー プ					
宗 教 セ ン タ ー		8/8～9/11	月～金	9:00～16:00	9/24(木)より平常通り
		9/12～9/20	月～土	9:00～17:00(土曜のみ13:00まで)	

21世紀の総合学園創造のために、 「青山学院 EVERGREEN 21 募金」

＜募金対象事業＞

■青山キャンパス再開発

校舎の建設、環境整備等、魅力ある都市型キャンパス再開発
個人 1口5万円、1口未満の金額についてもお受けいたします。

■在学生支援体制の充実

給付型「青山学院スカラーシップ制度」の充実
・冠奨学金／寄付者の名前を冠し、寄付者による給付条件
金額の設定(15万円以上)
お名前を冠することを希望されない場合、または15万円未満の
ご寄付は「エバグリーン奨学金」の名称に統合して奨学金を設
定いたします。

※個人によるご寄付は税制上の優遇措置の対象となります。

パンフレット請求先:募金事務局(本部3F)

TEL:03-3409-6208 FAX:03-3409-3890



AOYAMA GREEN FESTIVAL (第16回青山学院大学同窓祭)開催のお知らせ

9月23日(水・祝)午前10:30～青山キャンパスにて開催

■EKIDEN走 大学陸上競技部、箱根駅伝出場記念イベント

駅伝サポーターズステージを中心に、先輩から後輩へエールを贈ります。

■法学部創設50周年・同窓会創立20周年記念

ブレイVENTシンポジウム

■中田宏横浜市長フォーラム

『世界に目を向けよう～日本が果たすべき役割～』

■ドラえもんキャラクターショー『のび太のレスキュー隊』

その他『Shall we dance?2009』、『青山寄席』、『公開講座』など皆様
にお楽しみいただけるような企画が目白押しです。また、例年好評の模擬
店・出店・福引抽選会もますます充実!

夕刻からはアイビーホールにて懇親パーティーを開催。

詳細は同窓祭ホームページ <http://aogaku-doso.jp>を

ご覧ください。



お問い合わせ先

大学同窓祭実行委員会事務局

TEL03-3409-8990 E-mail: alumni@netlaputa.ne.jp

2010年度一般入学試験・大学入試センター試験利用入学試験日程

●一般入学試験

[全学部日程] 試験会場：青山キャンパス

※ただし、志願者状況により「青山キャンパス」のほかに、「相模原キャンパス」で実施することがあります。

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
全学部・学科(注)	1/4(月)～1/23(土) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/7(日)	2/14(日)	2/22(月)

(注) 文学部第二部を除く。社会情報学科はA方式・B方式で募集。

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です。

[個別学部日程] 試験会場：青山キャンパス

学部・学科・方式	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合文化政策学部 総合文化政策学科(A方式) 社会情報学部 社会情報学科(A方式・B方式)		2/9(火)	2/15(月)	2/22(月)
理工学部 物理・数理学科(A方式) 化学・生命科学科(A方式) 電気電子工学科(A方式) 機械創造工学科(A方式) 経営システム工学科(A方式) 情報テクノロジー学科(A方式)		2/10(水)		
理工学部 物理・数理学科 (B方式・センタープラス方式) 化学・生命科学科 (B方式・センタープラス方式) 電気電子工学科 (B方式) 機械創造工学科 (B方式・センタープラス方式) 経営システム工学科(B方式) 情報テクノロジー学科 (B方式・センタープラス方式)	1/4(月)～1/26(火) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/11(木)	2/17(水)	2/24(水)
文学部 英文文学科(A方式) フランス文学科(A方式) 日本文学科(B方式) 史学科(A方式)		2/13(土)		
教育人間科学部 教育学科(B方式) 心理学科(A方式)			2/20(土)	
文学部 英文文学科(B方式) フランス文学科(B方式) 日本文学科(A方式) 史学科(B方式)		2/14(日)		3/1(月)
教育人間科学部 教育学科(A方式) 心理学科(B方式)				
経営学部 経営学科(A方式・B方式) マーケティング学科(A方式・B方式)		2/15(月)	2/21(日)	
法学部 法学科(A方式・センタープラス方式) 国際政治経済学部 国際政治学科(A方式・B方式) 国際経済学科(A方式・B方式) 国際コミュニケーション学科(A方式・B方式)	1/4(月)～1/30(土) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/17(水)	2/23(火)	3/2(火)
経済学部 経済学科(A方式・B方式) 現代経済デザイン学科(A方式・B方式)		2/18(木)	2/24(水)	3/3(水)
		2/19(金)	2/25(木)	3/4(木)
総合文化政策学部 総合文化政策学科(B方式) 文学部第二部 英文文学科(A方式・B方式)	1/4(月)～2/6(土) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	2/21(日)	2/27(土)	3/8(月)

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です(正規合格者のみ対象)。

●大学入試センター試験利用入学試験

[前期日程]

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
文学部 英文文学科 フランス文学科 日本文学 史学科 教育人間科学部 教育学科 心理学科 経済学部 経済学科 現代経済デザイン学科(2教科型・3教科型・4教科型) 法学部 法学科(3教科型・4教科型) 経営学部 経営学科 マーケティング学科 国際政治経済学部 国際政治学科(3教科型・4教科型) 国際経済学科(2教科型・3教科型・4教科型) 国際コミュニケーション学科 総合文化政策学部 総合文化政策学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 機械創造工学科 経営システム工学科 情報テクノロジー学科 社会情報学部 社会情報学科	1/4(月)～ 1/16(土) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	1/16(土) 1/17(日) 「平成22年度 大学入試センター 試験受験案内」を 参照してください	2/14(日)	2/22(月)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

※入学手続締切日までに、入学金を除く学費等についての延納(入学申込手続)を希望した者の入学完了手続締切日は3月24日(水)です。

[後期日程]

学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
法学部 法学科 経営学部 経営学科 マーケティング学科 国際政治経済学部 国際政治学科 国際経済学科 国際コミュニケーション学科 理工学部 物理・数理学科 化学・生命科学科 電気電子工学科 情報テクノロジー学科 社会情報学部 社会情報学科	2/25(木)～ 3/4(木) 郵送受付に限り (締切日消印有効)	1/16(土) 1/17(日) 「平成22年度 大学入試センター 試験受験案内」を 参照してください	3/13(土)	3/19(金)

※各学部・学科とも、個別学力検査等は課しません。

前期終了科目成績通知について

前期終了科目の成績評価は9月14日(月)より学生ポータルメニュー「成績通知書」にて通知します。学外PCから閲覧する場合は、あらかじめ学内でSecureMatrix/パスワードの登録を済ませておく必要があります。
(詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。)

アドバイザー・グループ紹介 ②

ディスカッションでお互いを高める 〈多賀谷アド・グル〉



会計プロフェッション研究科
多賀谷 充 教授

月に2回程度、研究室で「ディスカッション・タイム」を実施するのが、「多賀谷アド・グル」の主な活動です。ディスカッションといっても堅苦しい議論ではなく、とくにテーマも決めずに、仲間と「語り合う」ことを重視。いろいろな意見を出し合うことで、お互いを高めたいと考えています。最近の学生たちは総じておとなしい人が多く、仲間と本音で語り合う機会はほ

とんどないようです。そのため、アド・グルでの経験は彼らにとって、とても貴重だと思います。また東京の下町散歩や江戸東京博物館の見学、落語鑑賞に食事会など、ときには研究室から飛び出での活動も実施。こうした活動から自分自身の視野を広げ、多様な観点からディスカッションできるようになってもらいたいですね。



AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

●なお、「AGUニュース」を確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。

青山キャンパス→学生部厚生課
事務取扱窓口
相模原キャンパス→スチューデントセンター・学生生活グループ